

100^{ミリ}/h安心プラン 骨子

1. 概要

ゲリラ豪雨に対して、国民が安心して暮らせるよう、河川管理者が実施する対策に加え、下水道、道路等の関係者及び住民の方々が行うべき地域ごとの集中的な対策と役割分担等を定めた「100^{ミリ}/h安心プラン」を策定する。

2. 目標

- ◆河川整備、下水道整備に加え、下記の対策を実施し、ゲリラ豪雨による被害を最小限に抑える。
 - ・床上浸水の回避
 - ・地下空間(地下街、地下鉄、個別地下室)での人的被害の回避
- ◆官民の役割分担
 - ・官(公共施設管理者、自治体)と民(企業、住民等)が担うべき対策と役割分担

3. 内容

(1) 河川・下水道の整備水準の向上等

- ・計画に基づく所定の治水対策の推進
- ・整備期間における流域対策の優先実施

(2) 地域全体における分散型貯留浸透施設の推進

- ・流出抑制のための官民協力した雨水貯留浸透の推進
- ※一定面積ごとの雨水貯留浸透の整備

(3) 危険情報の周知(住民の水害危険度の認知向上)

- ・ゲリラ豪雨に対する地先ごとの脆弱性の情報提供
- ・洪水・浸水状況の監視・予測・情報の提供

(4) 地域水防の取り組み

- ・地域水防システムの構築と水防による被害最小化

(5) まちづくりにおける水害対策への取り組み

- ・水害リスクを考慮した土地の使い方や住まい方の誘導
- ・地下街対策

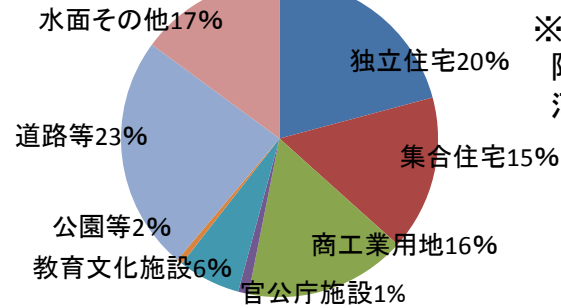
100ミリ/h安心プラン 概念図

地域全体における分散型貯留浸透の促進
(流域貯留浸透対策)

氾濫地域におけるソフト施策の充実

河川・下水道の整備水準の向上

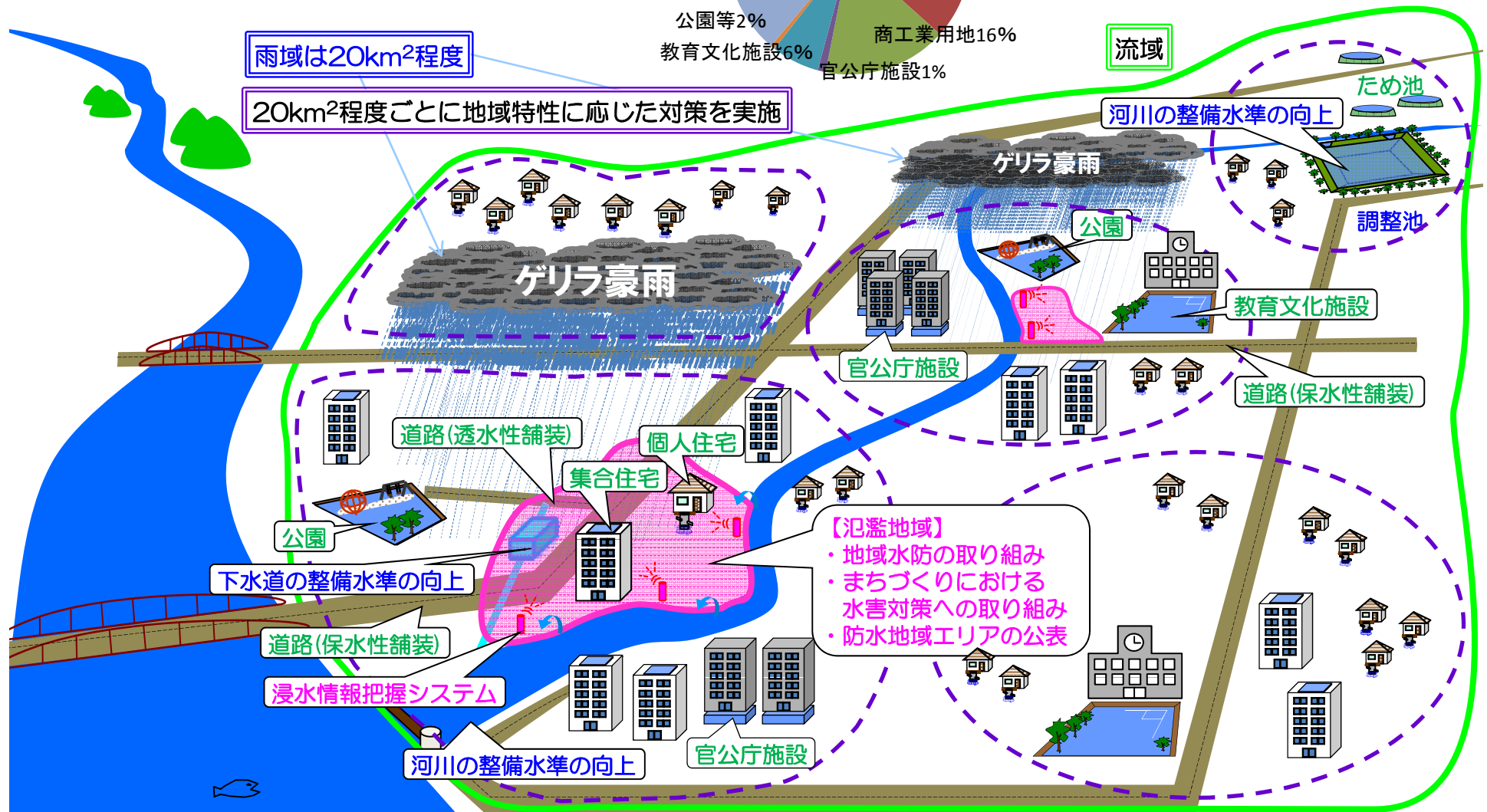
土地利用に応じた雨水流出割合



※土地利用は東京都23区平均

降雨強度は100mmで1時間

河川・下水道整備50mm/h対応と仮定



流域貯留浸透施設整備事例

公共

- 公共施設等での貯留浸透施設整備
(学校貯留の実施事例)



(通常時)

春日部高校(埼玉)



(貯留時)

(出典: 埼玉県パンフレット「雨水貯留対策」)

- 既存の溜池や池沼の改良(周囲堤の嵩上げ)



(出典: 愛知県)

民間

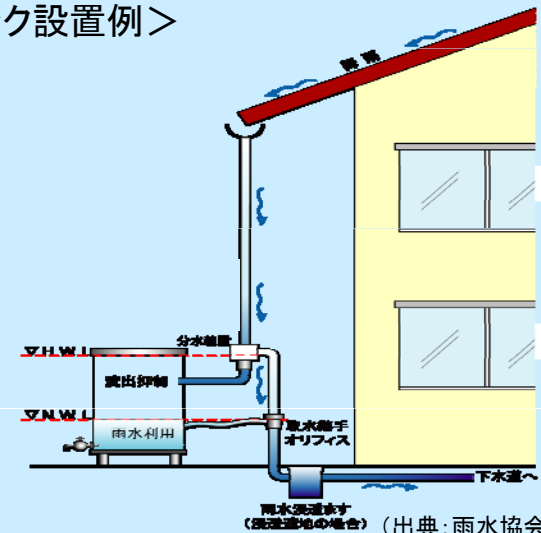
- 個人住宅敷地内への貯留浸透施設設置
＜雨水浸透ます設置イメージ＞



- ＜雨水貯留タンク設置例＞



(出典: 市川市HP)



(出典: 雨水協会)